

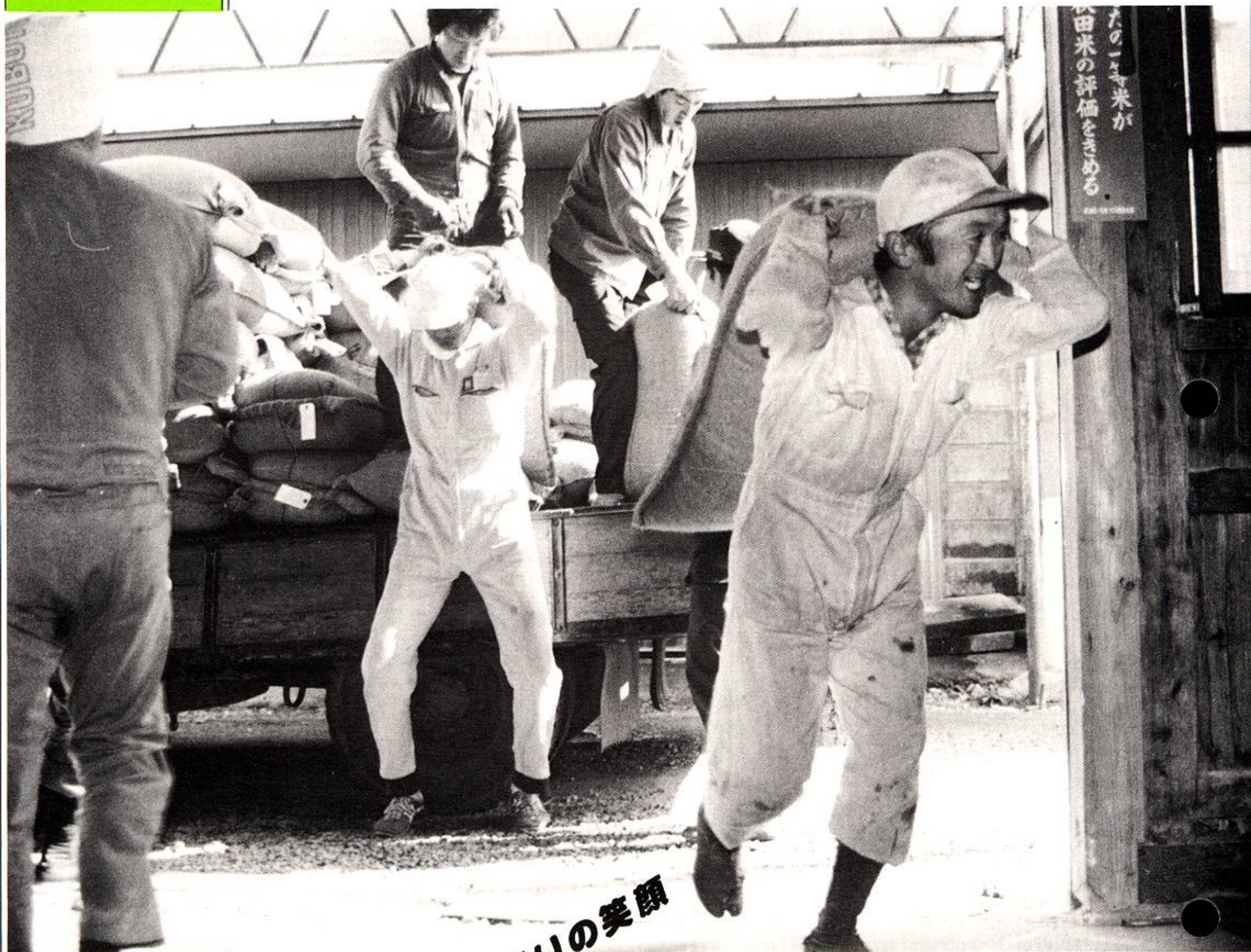


— 町のスローガン —

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 県営ほ場整備事業完成…………… 2・3
- すすむ道路整備…………… 4・5
- 上半期財政報告…………… 7
- 特集・青少年の非行を考える… 8・9



広報

豊作に5年ぶりの笑顔

今年の稲作は、9月の豪雨で一部に被害は出たものの、全体的には収量、質ともに良好で、昨年度の政府売渡米数量と比べると大幅な増量が見込まれています。こうした状況に、昭和54年から冷害で悩まされていた農家の人たちにも5年ぶりの笑顔がみられました。
(写真・蔵支所倉庫への米出荷)

11月

ひがしゆり

No. 356

題字 / 佐々木青洋氏 (東由利町出身)

県営ほ場整備事業完成

農業振興に

新たな基盤



事業の経緯

機械化による近代化農業への対応と、生産性の高い農業基盤の確立を目指し、昭和49年度から進められていた東由利地区県営ほ場整備事業が、11年にわたる歳月を費やしこの度完工。本町農業振興に新たな基盤をつくりました。

同事業で整備された耕地の面積は本町耕地面積の約30パーセントにあたる411畝で、受益農家は424戸。また、事業費の総額は26億8千2百万円余りで、この負担区分は国が45パーセント、県が27・5パーセント、地元負担は27・5パーセントとなっています。

本事業の完工によって本町のほ場整備率は96パーセントとなり、農作業効率が一段と向上したかたわら、新たに余剰労働力についても考えていかなければならなくなっています。

東由利地区県営ほ場整備事業が行われた地区は、石沢川沿岸に拓けた本町中央部に位置する411畝の耕地で、勾配は5〜10、標高は100〜170メートル。

耕地は全くの未整備であり、水路のほとんどが用・排水兼用で、地下水位が高く排水不良の状態を呈し、70パーセントが湿田でした。区画も2〜3a程度と小さく作業道もほとんどない状態で、機械化が進んだ農業を阻害する大きな原因とな

っていました。

このような状態を解消しようと昭和45年によくほ場整備の気運が高まったことから、県が昭和47年に本格的に調査、各関係機関の協力により昭和49年に事業が採択となり、同時に着工となったものです。

整備された区画

同事業で主体となったのは区画整理であり、区画は30aと大形になりました。また、これに併せて用水路の整備、農地の集団化、排水路や暗渠排水による全耕地の乾田化、大型機械の導入可能等、数知れないメリットで、本町のこれからの農業を大きく変えました。

357ヘクタを整地

主な工事は、整地工が357畝（畑1畝）で昭和54年ですべて完了。水路工が139キロメートルで昭和55年に完了。道路工が47キロメートルで昭和54年度に完了。暗渠排水工340畝で完了後は客土工や水路装工を行い今年度に仕上げの工事を行

近況

出羽丘陵 開発事業

本町畜産振興に大きな期待が寄せられている出羽丘陵開発事業は、昨年8月から着工、農用地開発公団の手によって現在さかんに工事が進められています。

同事業では、22団地を7年間で造成することになっていますが、今年度は次の5つの団地を造成中ですので、その状況をお知らせします。

〈更田団地〉

大吹川から須郷へぬける道路沿いにある団地で、草地4畝の造成と播種が終了、来春から採草できます。

〈荒山団地〉

横渡、根城間の国道107号線から高瀬川を越し左手にある団地で、草地10・3畝の造成と播種が終わり来春から採草できます。

〈大森団地〉

笹沢、荒沢間にある団地で、草地6・61畝の造成と、道路711・3メートルの改良工事が進められています。

〈周地谷地団地〉

智者鶴、ボツメキ林道間にある団地で、今年度は道路900メートルの改良工事が行われます。

農協 育苗センターの建設に着手

来春に稼動



起工式が行われた西山地内の育苗センター建設地

東由利農協では、かねて計画中だった育苗センターの建設に着手、先月15日に関係者30人余りが出席して起工式を行いました。

起工式では小笠原農協組合長ら

が力強く鍬入れをし、工事の安全を祈願しました。

同育苗センターの建設地は、町道西山線沿い西山地内で、敷地の規模は8、934平方メートル。この中に作業室100平方メートル、出芽室80平方メートル、緑化室216平方メートル、土置場47平方メートル、管理室20平方メートルが建設されるもので、建設費は4千4百万円余りとされています。

整地工は9月中旬から行われており、現在は降雪前の完成を目指し、建物の建築が急ピッチで進められています。

同育苗センターが完成すると、100畝分の育苗が可能となり、農作物の基本となる苗づくりが安心してできることから、農家や関係者の期待を大きくしています。

課題は余剰労働力

1戸当りの耕地面積が1.5畝と少ない本町では、こうした農業基盤

の整備や機械化の進歩によって、農業経営規模の拡大や、不安定兼業農家に対する就業機会の拡大など、農村労働力の新たな課題を抱えなければならなくなりました。

こうしたことから農家の余剰労働力を吸収する職場の確保のための企業誘致や、複合経営の確立のための出羽丘陵開発事業等、新しい農村づくりの施策を進めています。

経費は25年で償還

総額26億円を超える同事業費の10a当りの事業費は75万3千円で、国、県の負担を除く受益農家の負担は、10a当り20万円となっています。

受益農家が負担する経費は今後25年にわたり償還をしていくことになっていきますが、今後はこうした負担に見合った農業経営を、農家個々で確立していくことが必要と思われる。

自主性と創造性で

安定した経営を

250人が出席し竣工祝う

同事業の竣工式は10月9日に国、県会議員、受益者など250人余りが出席し盛大に行われました。

また竣工の歴史を後世に伝える記念碑も台所に建立され、同式典の前に、その除幕式が行われました。記念碑は仙台石で作られた高さ4.14幅4.14のりっぱなもので、建立以来、そこを通る人の目を誘

っています。

式典では、本荘市東由利町土地改良区の佐藤理事長が、「事業着工以来11年の歳月の中では、国の食糧需給の変化に伴う生産調整や換地など数多くの問題があった。しかし、この竣工により生産性の高い土地基盤の活用が実現した。今後は、農家の自主性と創造性で

の整備や機械化の進歩によって、農業経営規模の拡大や、不安定兼業農家に対する就業機会の拡大など、農村労働力の新たな課題を抱えなければならなくなりました。

こうしたことから農家の余剰労働力を吸収する職場の確保のための企業誘致や、複合経営の確立のための出羽丘陵開発事業等、新しい農村づくりの施策を進めています。

労働力を吸収する職場の確保のための企業誘致や、複合経営の確立のための出羽丘陵開発事業等、新しい農村づくりの施策を進めています。



事業完成を記念し、りっぱな記念碑も建立された

第9回臨時議会

第9回臨時町議会は、10月22日に招集され、豪雨により被害をうけた大台と中の沢の、農道の災害復旧事業を行うことと、補正予算の2案件を審議し、いずれも議決し閉会しました。

主な補正予算

一般会計予算に21,688千円を追加し歳入歳出が2,307,646千円となった。主な内訳は……

- ▶旧蔵小解体工事に2,656千円
- ▶特別養護老人ホーム建設関係等経費10,215千円
- ▶大台と中の沢地区の災害復旧工事関係に8,418千円
- ▶道路、橋梁等の災害復旧工事関係に1,502千円



来春から採草できる更田団地 (右) と荒山団地 (左)



板戸、善徳間にある団地で、今月から道路1、886メートルの改良工事に入ります。

同団地や、大森団地などの道路改良や新設によって、産業用道路としてだけでなく、部落間を結ぶ生活道路としても大きな役割を果たすことになり、同事業の早い完成が望まれています。

〈善徳団地〉

住み良い町づくりのために……

すすむ道路整備

本町には国、県、町道合わせて176の道路があり、その全体の長さは235・7キロにも及んでいます。

国道107号線の改良により、トンネルを含めたバイパスが館合、老方、蔵地区に完成するなど、道路交通網の整備が急速に進められ、その改良率は国道が42・5％、県道の主要地方道が47・4％、同一一般地方道28・5％、町道が42・3％となっています。

このうち町道の1級路線では93％、2級路線でも約50％の改良率となっており、住み良い町づくりの大きな条件である道路整備が着実に進められています。

今号では改良される道路にスポットをあて、その状況をレポートしてみました。

整備される県道

仁賀保矢島館合線

仁賀保町から矢島町を通って本町八日町の国道107号線館合バイパスに接する県道(主要地方道)仁賀保矢島館合線は、須郷田、時雨山間の改良舗装工事を今年8月までに完了。現在は時雨山、田代沖田橋間の改良工事を進めており、完成は来年度になる見通しです。



改良、舗装が完成した時雨山地内

檜渕横渡線

横渡から黒沢を通って大内町に抜ける県道(主要地方道)檜渕横渡線、通称黒沢線の改良工事は、昭和56年度に着工、これまでに横渡地内の一部改良や黒沢地内の改良、舗装のほか、今年度は若林から大内町との町境までのうち未改良、舗装部分を完成させました。

今後は、用地売却もほとんど終了したことから、横渡から黒沢トンネル間、黒沢トンネルから黒沢地内間、および大谷地から若林間を昭和61年度までに完了させる予定で、計画を進めています。



若林から大内町との町境までが完成

同線の今後の改良予定区間は、沢中(石高)から須郷までで、県ではこの区間の早期改良にむけ、工事計画を策定中です。

山崎鴻屋十文字線

山崎から松柴を通り羽後町に抜ける県道(一般地方道)山崎鴻屋十文字線、通称松柴線の改良工事は、昭和51年度に着工、昭和58年度までに全線の用地売却と、一部の改良、舗装を行っています。

今年度は道路の新設工事を行っています。他は比へて改良が遅れている同線の早期完成のため、今後も予算獲得の交渉を続けていくことにしています。



松柴地内の工事現場

町長の談話室

島山亮二郎

道路は文化の

バロメーター

わが町の道路総延長は、235・7キロ(農道3・7キロと林道39・3キロを除く)に及ぶ。

町の動脈路線は、国道107号線。町のほぼ中央部を東西に貫いている。くらしの生命路線と位置づけてよい。また、改良整備が未完成ではあるが、蔵バイパスの完工により、町発展のシンボル路線として、一段とその光彩を放つ。

この幹線に、6本の県道が放射線状に連なり、隣接5町(矢

島、大内、大森、雄物川、羽後)に通じ、更に町道、農免農道等生活道路が縦横にこれを結ぶ。山間、山林地帯は林道が走る。

道路地図を見る限り、この交通体系はまさに、わが町将来の発展が約束されているかの感じである。しかし、まだ未改良、未整備の道路がかなり多い。

道路は文化のバロメーターといわれる。町の発展は、道路からはじまると言って良い。道路行政を最重点に進めなければならぬ所以である。

過日、町内の道路状況(特に工事現場を中心として)を一巡視察してみたが、特に農村総合整備計画モデル事業による集落内の道路整備の遅れが目立っている。

道路工事発注情報

(10/4 まで発注分)

▶ 横手東由利線 県単側溝整備 工事	・施工場所 老方字老方 ・工事期間 10/5～12/10 ・契約金額 4,047千円 ・施行業者 村上建設
▶ 横手東由利線 県単簡易舗装 改良工事	・施工場所 蔵字横渡 ・工事期間 10/5～12/20 ・契約金額 3,580千円 ・施行業者 石井建設
▶ 横手東由利線 県単簡易舗装 改良工事	・施工場所 老方字寺田 ・工事期間 10/5～11/10 ・契約金額 7,640千円 ・施行業者 長田建設株
▶ 羽後向田館合線 県単簡易舗装 改良工事	・施工場所 黒沢字智者鶴 ・工事期間 10/5～11/10 ・契約金額 2,890千円 ・施行業者 長田建設株
▶ 横手東由利線 県単舗装工事	・施工場所 蔵字横渡 ・工事期間 10/5～11/10 ・契約金額 6,550千円 ・施行業者 村岡建設工業株
▶ 団体営農道整 備事業 第11202号工事 (舗装)	・施工場所 田代字石高 ・工事期間 10/4～11/10 ・契約金額 1,500千円 ・施行業者 村岡建設工業株
▶ 団体営農道整 備事業 第06302号工事 (改良)	・施工場所 宿字大台 ・工事期間 10/4～12/10 ・契約金額 10,600千円 ・施行業者 株興北協和
▶ 農村総合整備 モデル事業 細田坂線改良 工事	・施工場所 蔵字細田坂 ・工事期間 10/4 ・契約金額 5,000千円 ・施行業者 村上建設
▶ 農村総合整備 モデル事業 榎木沢線改良 工事	・施工場所 法内字榎木沢 ・工事期間 10/4～12/10 ・契約金額 3,000千円 ・施行業者 広川工務店
▶ 町道蔵上里線 舗装工事	・施工場所 法内字宮ノ前 ・工事期間 10/4～11/10 ・契約金額 7,400千円 ・施行業者 株大沼組
▶ 町道坪倉線 舗装工事	・施工場所 館合字上ノ代 ・工事期間 10/4～11/10 ・契約金額 5,700千円 ・施行業者 長田建設株
▶ 大琴地区流雪 溝補給水工事	・施工場所 宿字大琴 ・工事期間 10/4～11/30 ・契約金額 7,150千円 ・施行業者 佐々木組
▶ 高瀬小学校 外構舗装工事	・施工場所 法内字宮ノ前 ・工事期間 10/4～11/10 ・契約金額 5,450千円 ・施行業者 株大沼組



高村地内、最大の難所を工事中

完成近づく 小倉、高村間

小倉から高村までの町道高村線は昭和55年に、広域農業八沢木地区と名を変えて県が工事に着手、昭和58年までに1、330mの改良工事を終え、今年度は唯一の難

所である樽水地内の砂防えん堤付近130mの改良と、土留工事を施工中です。

今後は高村集落内までの改良を昭和60年ないし61年までに完了し、併せて早期に舗装工事を行うよう県と交渉することになっています。

町道の改良も 着々と...

地域の発展に大きな役割を果たす町道の整備は今年度32路線を予

県道横手 東由利線

改良整備促進 期成同盟会発足

県道横手東由利線は、平鹿郡と由利郡を結ぶ動脈として昭和37年に県道、そして昭和57年には主要地方道として認定されていますが、特に雄物川地内の改良が遅れており、同地内の早期着手と、併せて全線の改良整備促進のため、この度改良整備促進期成同盟会が発足しました。

同会の会員は、本町のほか大森町と雄物川町の町長、議会議長、同議会産業建設等委員長で構成され、去る10月12日に雄物川町三吉山荘で第1回目の会議が行われました。

会議では同線の早期改良整備のため、年度内にも県、国へ陳情をすることを決めました。

定。このうち先月末までに改良や舗装を完了したものは大台線、石高線、下小屋線、明通線、向田線、鳥台線、宮ノ下線、高館線、中の沢線、八塩線、蔵上里線、横渡線、上野線、西の浜線、坪倉線、仲の沢線の16路線で、このほかは、降雪前の完成を目指し現在急ピッチで工事が進められています。

このように、住み良い町づくりの最大の条件ともいえる道路の整備は着実に進められています。

道路は、その地域の文化を一変させると言われる。道路の改良整備が進むにしたがいわが町も発展を続け一変した。

私は、「最早、わが町は僻地ではない」と言い放っている。何故なら、僻地意識を払拭して行政に取り組んでこそ、町の発展があると考えるからである。私の持論である。

今は、モータリゼーションの時代。車社会といわれる時代である。町から車で本荘に30分、横手に40分、空港まで大内経由で1時間、東北新幹線北上まで2時間。町外の人々に対し、私は、「由利郡内どの町よりも便利な町だ」。そう言って自慢している。車社会の時代の交通についての、ひとつの意識改革である。僻地だ。山村だ。不便だ。こう考え込んでしまつては、町の発展につながらない。

初めて東由利を訪れる人は、

石沢峠から、または大沢から郡境までの坂道を登りつめて町に向うとき、この奥に町があるだろうかと思いつつ町に入るといふ。なだらかな出羽丘陵の山並みが城壁のように町を囲み、拓けた東由利盆地の町並みに入ると、まるで桃源境のような町。そのように表現した人さえいる。町民が僻地意識をとり払うことができるのも、やはり道路行政だと私は考える。

今後、国道107号線に新たに宿工区を設定して工事の促進を図り、更に岩館バイパスを白沢トンネルが貫通する頃までには通し、また、坪倉線の改良による短絡線の整備を図り、松柴線、高村線の日も早い完工；等々。これからやらねばならぬ道路行政に意欲を燃やし続けている。

町民の一層のご協力を切に願つてやまない。

第2工場6月にも完成

秋田信英(株)竣工式

全町民から熱い期待が寄せられ、本年8月から操業に入っている誘致企業秋田信英(株)の竣工式が先月27日に行われました。

同社の建設は4月に着工、以来4か月余りで完成し、予定どおり操業。外構工事等もほとんど完成した先月、同工場で竣工式を行ったもので、当日は120人が出席し同社の繁栄を祈願する神事を行ったあと、登内秋田信英(株)社長らがテーブルカットを行いました。このあと有鄰館で「披露パーティ」が行われ、登内社長が「畠山町長のねばり強い熱意に魅せられ当町に工場を設立することになった。操業以来予定したよりもはるかに生産が伸び、これも地元従業員の情熱ある努力のおかげであり、明年度に着工を計画していた第2工場も予定を早目、来年6月

完成にむけ工事をすすめている」とあいさつ。出席した関係者に新たな喜びと希望を与えました。

また翌28日には、会社内外の一般公開が行われ、500人余りが工場を見学、工場の大きさや、清潔さ、環境のよさを目を見張らせていました。

同社では、第2工場の6月完成にむけ大幅な増員を計画しており、来春早々には従業員の新規募集が行われる見通しとなっています。

奨学資金を貸付けします



町では、経済的理由等で修学が困難な生徒(学生)に奨学資金の貸付けを行っています。

このたびは貸付金額等を改正したことから新たに借入希望者を募集することにしました。

対象となる生徒(学生)は、町に住所があり、成績、態度、行動ともに良好な者で、修学期間中、無利子で借りられます。

貸付金額は、高校生が月額7千円以内、大学生が月額1万5千円以内となっており、償還は、高校

または大学を卒業後1年を据え置いてすることになっています。

申込みは、毎年3月31日までで新年度からの貸付を原則としていますが、特別な事情がある場合は年度途中からも借りられます。

手続きには所定の書類(申請書・学校長の推せん書・家族調書・所得及び資産証明書)と成績証明書が必要です。

なお、用紙の請求及び問い合わせは、教育委員会(☎69-2310)にしてください。

ねんきん ④

出稼ぎに行かれる
みなさんへ

一点検みましょう3項目

秋の収穫が終わると出稼ぎのシーズンです。

就労先で厚生年金に加入した場合、次の点に注意してください。

①以前に厚生年金に加入したことのある人は、年金手帳を忘れずに持参し、労務担当の方から加入年月日や事業所名を記入してもらってください。

厚生年金に加入した期間は、将来通算されて年金が受けられます。

②国民年金をやめる手続きをしてください。

役場で交付する就労袋に手続きの用紙が入っていますので、これに事業所から証明してもらい、早目に町国民年金係に届けてください。

なかには、厚生年金に加入していることを知らずに国民年金をそのまま納めていることもあります。その場合の保険料は、手続きによって還付されますが、このようなことのないよう注意してください。

③出稼ぎに行く前に、国民年金の納め忘れがないかもう一度確認してください。万一、事故や病気になったとき、保険料の未納があると、障害年金が受けられない場合がありますので忘れずに、納めてからお出かけください。

誘致企業「秋田信英(株)」の限らない繁栄を祈り、紅白のテープにハサミが入れられた。



「役場第2庁舎(建設課、産業経済課)の窓口がせまい……」という町民の声にお応えして、このほど同庁舎を改築、窓口をひと周り広くしました。

出稼ぎに行かれる方々で混雑する時期となり、昨シーズンは庁舎の外でお待ちいただいていた不便も改善されました。

「窓口がせまい」
にお応えして!



心配ごと相談所、ご利用ください

誰にも相談できないで悩んでおられる方。どんなことでも相談に応じます。秘密はしっかり守りますのでお気軽にご相談ください。

定例相談日▶毎週水曜日
時間▶午前10時～午後3時
場所▶町社会福祉協議会
電話▶69-2110

一般会計予算現額 2,285,958千円



まちの財政

上半期
財政報告

昭和59年度(4月～9月)



補正額は
198,632千円

〈歳入〉

収入済額 766,164千円 (33.5%)

(単位：千円)

町 税
地方譲与税
地方交付税金
国庫支出金
県支出金
繰入金
繰越金
町債
その他収入

予算現額	176,115	(0)	8.9
△	28,722	(0)	
△	934,421	(9,501)	40.9
△	191,789	(33,491)	
△	317,505	(37,341)	
△	31,718	(8,218)	22.3
△	85,589	(45,589)	5.1
△	289,500	(19,800)	12.7
△	230,599	(44,692)	10.1

昭和59年度予算の現額は22億8千5百95万8千円で、生活環境、教育施設、集落道整備、災害復旧事業に積極的に対応したものとっています。

9月末の収入、支出済額は、どちらも昨年同期とほぼ同じ30%台の執行となっています。

これまでの補正額は1億9千8百63万2千円で、主な要因は9月2日から3日にかけて発生した集中豪雨による道路、河川、農業施設災害復旧事業の1億1千2百18万4千円、関連としての道路維持費1千3百14万円、町奨学資金貸付条例改正に伴う貸付基金への繰出99万円、小・中学校、下郷分校選手派遣費補助97万9千円、老人福祉対策としての居室整備貸付金2百万円、後年度財政需要への備えとしての財政調整基金積立金1千9百32万6千円で、90%が投資的事業費補正となっています。

補正財源の主なものは国、県の支出金となっています。

〈歳出〉

支出済額 717,754千円 (31.4%)

(単位：千円)

議 会 費
総 務 費
民 生 費
衛 生 費
労働 費
農林水産業費
商 工 費
土 木 費
消 防 費
教 育 費
災害復旧費
公 債 費
諸 支 出 金
予 備 費

予算現額	51,037	(0)	13.7
△	262,579	(30,649)	
△	141,676	(2,204)	11.6
△	122,685	(△ 649)	
△	5,360	(0)	
△	524,478	(5,546)	24.4
△	28,306	(4,976)	
△	250,451	(46,716)	11.0
△	98,108	(2,120)	4.3
△	332,102	(△ 4,605)	
△	142,249	(112,184)	14.5
△	321,563	(△ 509)	6.2
△	1,364	(0)	
△	4,000	(0)	14.3

凡例 済 未 ※カッコ内は下半期補正額

町の財産

土地

7,404,731㎡
(うち山林 1,292,830㎡)

建物

有価証券

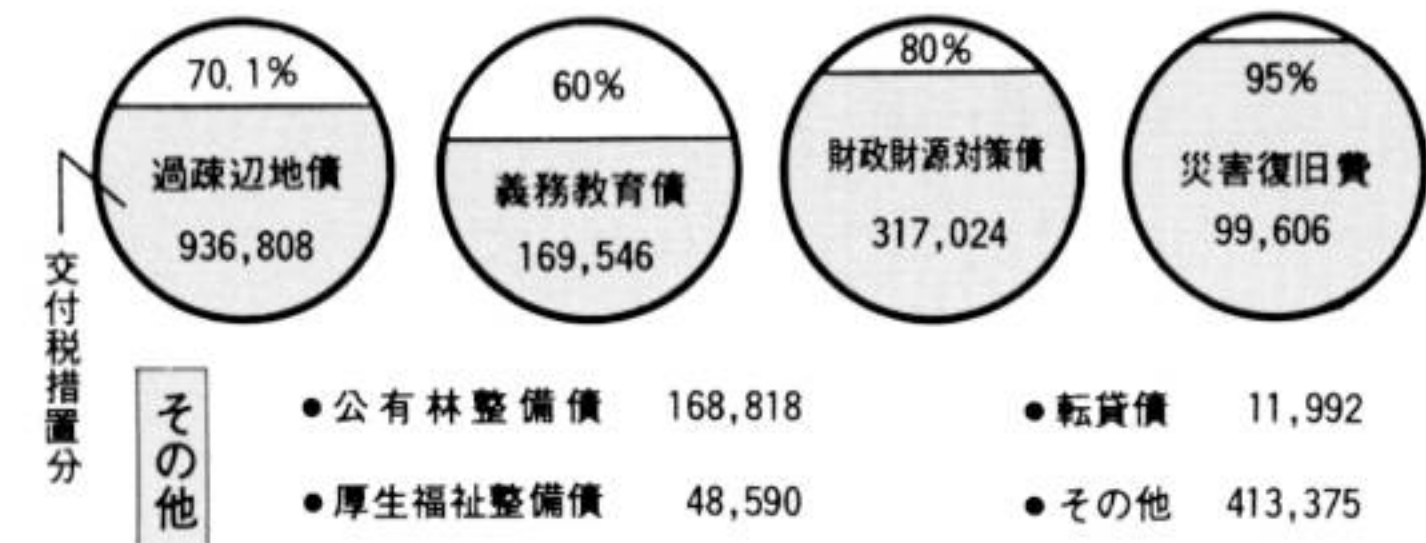
出資による権利

自動車・ブルドーザー等

基金

- 財政調整基金 36 台
- 国保財政調整基金 408,159千円
- 簡易水道財政調整基金 215,966千円
- 土地開発基金 124,622千円
- 高額療養費貸付金 17,771千円
- 中小企業振興基金 20,000千円
- 奨学資金貸付基金 2,000千円
- 国民年金印紙購入基金 8,000千円
- 高齢者等肉用牛飼育事業貸付購入基金 2,000千円
- 高齡者等肉用牛飼育事業貸付購入基金 400千円
- 高齡者等肉用牛飼育事業貸付購入基金 17,400千円

公債費現在高 2,165,759千円



特別会計の状況

項 目	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	411,619	137,084	123,549
老人保健医療事業	236,734	120,848	97,684
黒 淵 診 療 所	2,447	1,145	647
簡 易 水 道 事 業	348,939	72,296	68,445
大平スキー場運営費	11,636	5,545	659
玉 米 財 産 区	10,217	8,564	21

(単位 千円)

青少年健全育成 強調月間・特集

青少年の 非行を 考える

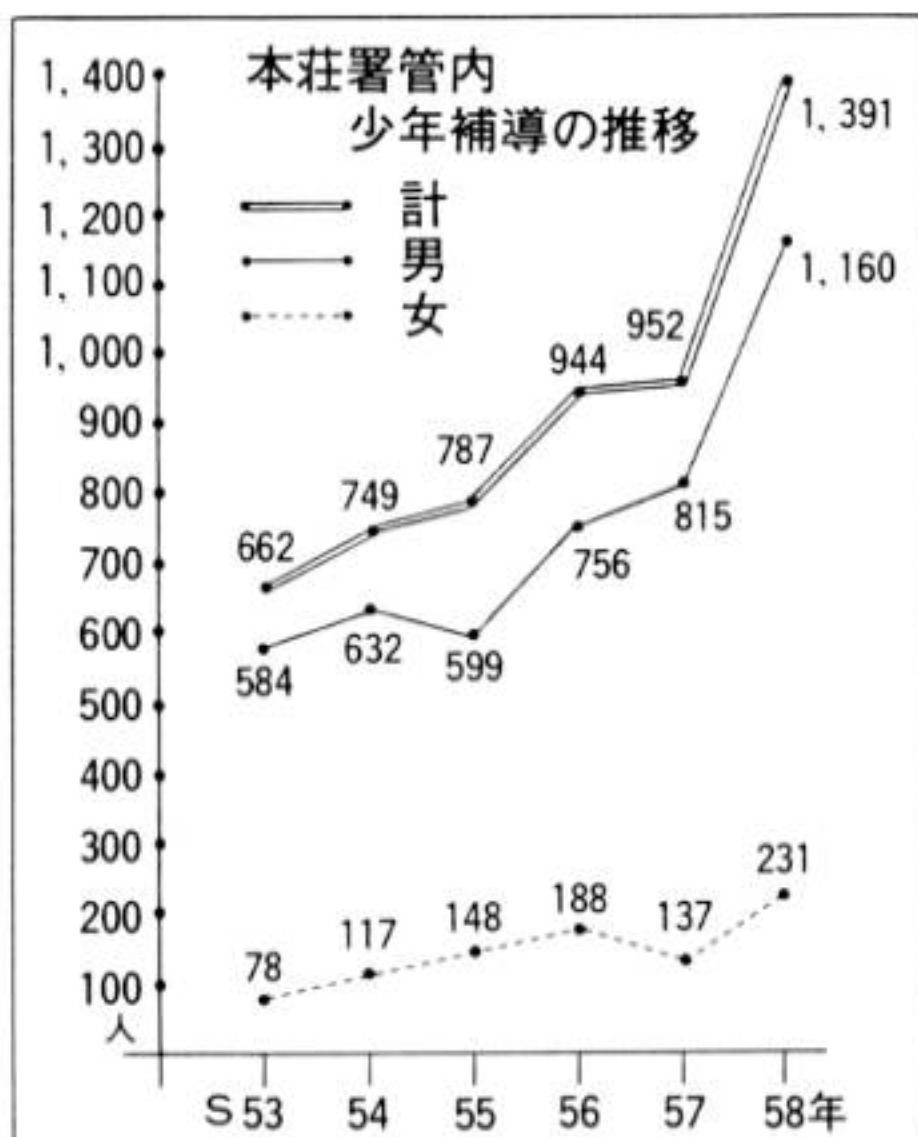
青少年の非行は毎年増える一方で、今や大きな社会問題となつています。

昨年度に本庄警察署管内で補導された少年は、過去6年間で最高の1,391人となっています。

非行を知った少年の親のほとんどは、「うちの子に限って……」と口走るそうです。

非行の素質は、どの子どもも持っているといわれ、その芽が大きくなならないうちに、親が常日頃から目くばりすることが大切といわれています。

今月は「青少年健全育成強調月間」であることからこれにちなみ、青少年自身からみた非行と、指導者の立場から考える青少年の健全育成について掲載してみました。



弁論大会で発表する渡辺くん

皆さんは防犯と言うと何を思い浮かべるでしょうか。私はここで具体的な防犯の方策と言うのではなく、防犯につながる一人ひとりの心の持ち方について、私なりに考えてみましたので述べてみたいと思います。

まず第1にあげたいのは、我慢・忍耐と言うことです。小さい子どもがおもちゃを欲しがって、店の前でだだをこねている光景を見かけたことがありません。これは、小さい子どもです。小さい子どもは、我慢・忍耐がその感情を抑えることが出来ないという大変です。自分の欲望を抑えることが出来なければ、いわゆる万引きや、さらに強盗など大きな犯罪にまで及んでしまうことになるからです。犯罪を犯すからには、人それぞれの事情や理由があるにせよ、そこで自分の感情、自分の心中での葛藤に負け、感情のままに行動するのであれば、感情のままに行動するのは何の進歩もありません。このような我慢・忍耐の出来ない人は、他人まで迷惑をかけてしまします。我慢や忍耐は、私達が社会生活

防犯について

本庄高校下郷分校
3年 渡辺栄治

これは、先月22日に町青少年健全育成町民会議等が行った、「生活をよくする」弁論大会で、優秀賞を受けた作文です。

を営んでいく上で欠くことのできないものだと思うのです。

第2は勇気です。私達をはじめ、今の青少年はほとんどと言っていいくらい、グループで行動しているように見受けられます。それに伴って、グループでの犯罪も増えているようです。昔、「皆でやれば恐くない」という言葉が流行しましたが、私も好きでした。同じ目標を持った者同

軌道修正してやれる人に私はなりたいし、また皆にもなってほしいと思います。他人に頼るのではなく、自分の力で勇気を出し、真向から接することが大切なのです。私の経験からすれば、勇気を出すのに勇気があるのであって、すなわち、勇気を出すことそれ自体が困難であり、心の中で思っていること、頭の中で考えていることを口に出すまでが辛いのです。

実際、悪いことだと判断できた場合に、勇気を持って忠告しようと思っても、その勇気を出すのが怖いと言うことを私自信が経験しました。グループに入っている仲間から、はみ出すことがいやなため、言い出せない場合もあるでしょう。一つの大きな問題かもしれません。

グループから抜けるか、そのまま悪い方向にずるずると進むか、どちらにせよ、悪いと気づいてしまった以上、つらい決断が必要とされるのです。そんな時は、グループから抜けてもともと、勇気を持って皆を説得するつもりで話してみたら良いと私は思います。こうして話している私自身が、勇気を出せるかどうか分かりませんが、結果を心配する前に、まず勇気を持ちたいと考えているのです。

今までいろいろと話して来ましたが、一番大切なのは、自分自身で考える事だと思います。

三無主義をつき破るには

指導者の立場から



畠山東由利中学校長

三無主義といって、今の青少年に、無気力、無感動、無関心がまんえんし、いわゆるやる気のない青少年がふえて来ているという。

原因はいろいろ言われており、一概には言えないのだが、物質万能時代、しかも物の豊富な時代、生活の便利な時代に育つ子供達というところに原因を求める人が多い。私もそのことには賛成であるが、何より問題なのは、その中にどっぷりつかっている私達の考え方、生活の仕方ではないだろうか。

この間、二年生のキャンプ生活での報告を聞いていたら、歩かされて辛かった、なぜ車に乗せないのか。のどが乾いた、なぜ水だけでのどをうるおすのか。腹がすいた、なぜおやつがないのか。そんな報告が多かったのであるが、うらがえしをすると、今の子供達は余り歩かない、のどが乾くとジュース、腹がすくとおやつと、できるだけ楽に、また欲望のままに生活をしていることを証明していると思う。子供達は手を出せば何でも手に入る、しかも欲望のままに

なると、いったいどんな子供に育つのだろうか。私達のように物のない、死ぬか生きるかの時代に育った人間にとっては、なかなか想像しにくい現状ということと思う。

こういう時代に、がまん強さを育てることは難しいことは論をまたない。また便利な時代で、スイッチ一つでできるものがかなり出て来た。テレビのスイッチにしてもできるだけ体を動かさないでテレビをつけるという時代、便利とはできるだけ体が動かないことという考え方の広がる時代である。ごはん炊き一つ例にとると、スイッチを入れるとごはんは炊き上がるのであるが、できたという結果だけでその過程はさっぱりわからない。つまり、便利であるということとは、考える人間を育てないということである。私達の回りには三無主義になる材料がたくさんある

がつているということである。

子供達の周囲を取巻くかかる状況の中で、何を考えて教育に当たるべきか。まず、あたえて喜ばすことを考えるよりも、あたえないで育てることも考えないといけないと思う。そこでどうしたらいいかという問題を抱かせ、自分の頭で考え自分の体を使って解決していくという、生きていくための基本的力をつけていかねばならない。子育てにあたって「かわいい子には旅させよ」という言葉を本当に味わってみる必要がある。旅でなくとも、人間は試練に合わぬと一人前にはなれぬということである。人間の愛情のすばらしさを覚えて、思いやりのあるあたたかい心を持ち、自分の課題達成にむきにつき進む。そんな青少年を育てていかねばならない。

東由利中学校長（地域生活研究協議会東由利地区協議会会長）
畠山 悟

ひとりで悩まず 気軽に相談を

少年の非行、家出、自殺等を未然に防止し、また、早期に発見するために秋田県警察本部では、電話による専門の相談施設として防犯少年課に「やまびこ電話」を設置し、経験豊かな婦人補導員や心理専門家が相談に乗っています。

自分の悩みごとや困りごとを親や先生などに打ち明けれない少年や、子どもの非行や家出などの問題で悩んでいる保護者も案外多いようです。

一人で悩まずに、気軽に電話してください。

☎0188-24-1212

出稼ぎは〈安定所の紹介〉してから…

出稼ぎされる方
・留守家族のみなさんへ

事故にあつてからでは遅すぎます。家を出てから帰るまで、健康で安全に働けるよう、公共職業安定所の紹介を受けて就労先をきめ、出稼互助会に加入してから出発しましょう。

就労前に

- ◎事業所の名称、所在地、電話番号等を確認して役場へ届け出て互助会へ加入する（会費は、出稼就労安全対策協議会費も含めて1,000円）
- ◎健康診断の際に集めた出稼労働者手帳は、互助会加入時に渡します。
- ◎労働条件は詳しく確認して、就労してからトラブルのないようにする。
- ◎健康状態が思わしくない人は無理せず、医師に相談すること。

帰省する前に

- ◎現場の監督へあらかじめ帰省の予定日を知らせて仕事に支障がないようにする。
- ◎金銭の貸借等がある場合は、必ず精算してきましよう。
- ◎賃金が支払日の関係で未精算となる場合は、必ず事業所へ出稼労働者手帳を提示して賃金未払確認書の欄に記入してもらって下さい。
- ◎給料の明細書、出面表は必ずとっておいて下さい。
- ◎自分の都合で退職した場合、雇用保険の受給が、待期間が経過してから三ヶ月延期されます。
- ◎留守家族との連絡は密にして、営農に支障のないように心がける。
- ◎万一、病気や事故にあつた場合は、できるだけ早く医師の診療を受けると同時に、役場の方へも連絡する。
- ◎自分の健康状態をみながら、決してムリ働きはしないようにする。
- ◎事業所側とのトラブルが起きた場合は、できるだけ早く安定所、役場の方へ連絡する。

就労してから

- ◎出稼労働者手帳を事業所へ提示して、労働契約を結ぶ。
- ◎就労袋に入っている「お届けハガキ」は必ず出して下さい。
- ◎途中で事業所や、住所が変わった時は、家族はもちろん、役場へも連絡して下さい。



まちの話題

10月27日・28日の2日間にわたり、朋楽荘を主会場として、本町をはじめ近隣市町村から約90人の若者が参加して青年交流会が開催されました。

この交流会は、次代の担い手である若者が一堂に会し、連帯意識の高揚と相互の理解と親睦を図るとともに、地域社会の発展に貢献する若者を育てようと、本町の連合青年会（鈴木和雄会長）と農業近代化ゼミナール（畠山忠志会長）が、町の後継者育成事業とタイアップして行ったものです。

交流会は午後7時に始まり、主



由利牛で焼肉パーティも

90人の若者が集う

青年交流会

催者側、地元町長の歓迎のあいさつ、日程の説明のあと、出版社社長野添憲治先生を講師にお迎えして「これからの青年の生き方」と題した、ふんだんな事例とジョークを交えた講演が行われ、会場は、笑いの中にも真剣に耳をかたむける姿が見られました。

このあと記念撮影を行ない、懇親会に移ると最初は固さのみられた参加者も、ゲームとアルコールが手伝いすぐにうちとけ、夜遅くまで交歓が行われました。

2日目は、前日の降雨の影響で八塩登山等の日程を一部変更し、中学校体育館でのレクリエーションゲーム、昼食は由利牛の焼肉パーティ、午後からの映画観賞等の日程を消化し、盛会のうちに幕を閉じました。

防犯灯プレゼント ＝東北電力＝

防犯、交通事故防止に役立ててください……と防犯運動や秋の交通安全運動が行われた先月、東北電力本荘営業所では秋のサービス旬間にちなんで、水銀防犯灯1基を町にプレゼントしました。

町ではさつそく、要望の出ている岩館地区に設置。地域の安全な生活に役立っています。

またこの旬間中、同東由利出張所では、町老人家庭奉仕員の協力を得て、60歳以上の一人暮らし老人の家を訪問。老人宅の電気配線に異常がないかなどを無料で点検し喜ばれるとともに、最近多くなつた路上自動販売機の電気トラブルを未然に防ぐため、大琴、蔵、老方地区を中心に機械を点検、所有者から喜ばれました。

すく、特にこれからはスリッパに万全の注意を！

今年の町功労者

11月3日有鄰館で表彰式

今年の町功労者に、前町長小松栄男氏（宇戸坂）、元町議会議長故小野昭一氏（宿）、元町教育長佐々木君三氏（大琴）が決まりました。3氏は、町表彰条例に基づき、10月8日に開かれた功労者選考委員会の選考を受け、晴れの表彰が決まったものです。

町では、11月3日の文化の日には有鄰館で表彰式を行ない、功績をたたえる表彰状と記念品を贈ることになっています。

小松氏ら3人に

小松 栄男氏

東由利町館合字館前
23番地。大正4年4
月1日生



小松氏

(故) 小野昭一氏

東由利町宿字幅野29
番地。大正8年9月
18日生



(故) 小野氏

佐々木君三氏

東由利町宿字大琴58
番地。大正4年11月
30日生



佐々木氏

昭和17年玉米村長に就任以来22年余にわたり地方行政を担当され、この間町村合併、農業基盤整備、町制施行、学校統合等、重要施策を実現し、町勢発展の基盤確立に多大の尽力をされました。

また外においては、秋田県町村会の副会長等各種団体の要職を歴任し広く地方自治の発展向上に寄与されました。

昭和43年東由利村議会議員に当選し以来その職にあること15年余。この間総務財政委員長、副議長を歴任するほか、3年6か月議長の間重職を担い、議会の適正な運営と町政の伸長発展に寄与されました。

昭和35年東由利村教育委員に就任し以来17年。この間教育長として10年教育行政を担当し、特に学校統合の推進並びに教職員の他地域との交流に努力されるなど、本町教育の振興に尽くされました。

まちの話題

ゲートボールで

交通安全

高齢者交通安全ゲートボール大会



出発点までは、横断歩道を手を上げて

お年寄りの人気スポーツ、ゲートボールを通じて交通安全意識を高め、事故防止につとめようと、先月4日、台山グラウンドで「高齢者交通安全ゲートボール大会」が行われました。

これは、町交通安全協会と公民館が共催して今年初めて企画されたもので、大会には町内のお年寄

り150人が参加。老人クラブ単位の13チームが参加しました。

この日は、老方駐在所の石垣巡査部長が交通安全指導にたち、ボールの出発地点へは、あらかじめ引かれてある横断歩道に沿って、手を上げて歩くことを指導。いつもと少し変わったルールのゲートボールについて興奮してルールを無視するお年寄りも……。

ゲームは事故もなく無事終わ。主催者から「交通ルールもゲートボールの規則と同じように守ってください」とあいさつを受けました。

死亡事故ゼロも1、600日にむけて継続中ですがお年寄りの事故が増え続けているだけに、こうした催しも大切な役割をもつものと思われま

防犯連絡員

に感謝状

横山さん・遠藤さん

防犯連絡員として長年にわたり地域の防犯活動にたずさわってき

た、泡の洲の横山三郎さんと小倉の遠藤兵一さんに本庄警察署長から感謝状と記念品が贈られました。

本町には各地区ごとに22人の防

県民健康推進大会
2人に表彰状・1団体に感謝状

先月3日に県民会館で行われた

した。

第13回秋田県県民健康推進大会の席上成人病予防事業功労者として

また、献血事業功労団体として本庄高校下郷分校に同知事から感謝状が贈られました。

宮の前小松サダミさんが、食品衛生功労者として下小路の小松徳蔵さんが県知事から表彰を受けま

明るい選挙

広がる若者の選挙離れ

6町が合同研修会

去る10月23日、本町有鄰館を会場に、郡内6町から110人余りが参加して「明るい選挙由利第二、第三ブロック合同研修会」が開催されました。

同研修会は、明るい選挙推進協議会第二ブロックの岩城、大内、由利、東由利と同第三ブロックの矢島、鳥海が毎年合同で行っているもので、参加者は各町の明るい選挙推進関係者及び、婦人会・青年会のリーダー。

この日は講演、映画のあと、3



今後の選挙啓発について検討した

分科会に分かれて今後の選挙啓発運動の進め方について話し合いを行いました。

各町の選挙管理委員会と明るい選挙推進協議会では、新成人743人のうち639人を対象に意識調査を実施していますが、その結果が今研修会の資料として出されました。これによると、回答者492人（回答率77%）中、町の政治・行政への関心度については38%が「ある」と答え、「ない」は48・2%、「わからない」13・6%。2代、「わからない」13・6%を加えると、過半数以上の新成人が政治・行政に関心がなく、また選挙への関心度も同様に「ある」が40%で、「ない」、「わからない」があわせて57・5%にも達していることがわかりました。

政治・行政への関心度

ある	38.0	ない	48.2	わからない	13.6
----	------	----	------	-------	------

選挙への関心度（パーセント）

ある	40.0	ない	45.7	わからない	11.8
----	------	----	------	-------	------

無回答

ていることがわかりました。

こうした結果に、研修会に参加した人からは、「大人に対する不信感や、選挙違反者の往行に原因があるのではないか」といった意見も出されましたが、これといった対応策も出ず、できる限りの啓発活動をして行くことで、広がる若者の選挙離れに対応していきたいとしました。

消防署の異動

人事異動により、消防署東由利分署の職員が次のように変わりました。

（転入）

小浜 敬一（分署長・西目より）
斎藤 満（機械係副主任・本署より）

（転出）

佐々木勝治（分署長・本署へ）
阿部 工（機械係副主任・本署へ）



文化財保護強調週間
11月1日～7日

県内で交通死亡事故が多発!! 夕暮れが早いので事故が発生しや

第11回全町マラソン大会



1位になった 人の顔ぶれ

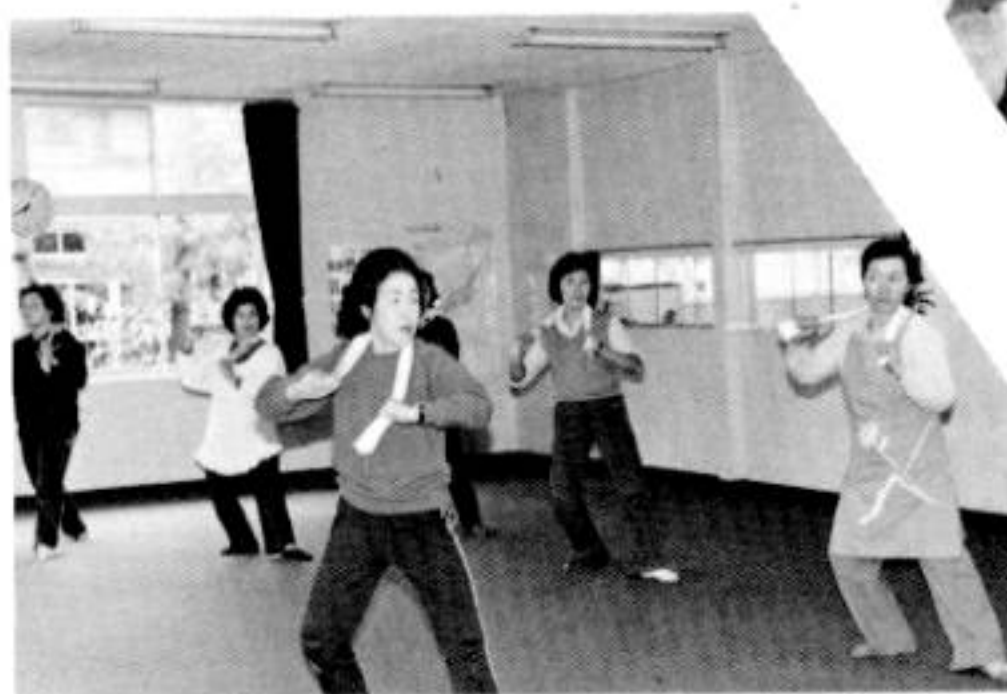
- (5年男子) 佐藤祐宏(高瀬)
 (〃女子) 工藤奨子(〃)
 (6年男子) 佐々木克仁(〃)
 (〃女子) 伊藤博美(〃)
 (中1男子) 古川 暢
 (〃女子) 池部留美
 (中2男子) 畠山 章
 (〃女子) 鈴木貴子
 (中3男子) 佐藤 進
 (〃女子) 菊地 享

10月20日、恒例の全町マラソン大会が行われました。参加者は八塩小を除く(郡市バスケット大会出場のため)町内の小中学生200人で、残念ながら今年も一般の参加者はいませんでした。



住吉婦人学級

住吉分館では10月22日、大内町の小松かずこさんを講師に、踊り「舟方さんよ」の学習をしました。



米料理講習会

10月24日有鄰館で、米を使った「だんご」のつくり方の講習会が行われ、各地区から40人余りが参加しました。

お元気ですか
保健婦です

④

農繁期も終末に近づき朝霜の冷たさが冬の間近いことをおしえてくれているかのようです。それと同時に役場の窓口では続々と出稼労働者手帳や特の手続きに訪れた人々で、ときに混雑している場面がみられるようになりました。

さて、保健婦は、7月と8月に実施した循環器及び出稼検診の結果の集計と分析に大わらわ(?)といったところです。

昨年からの老人保健法の施行に伴い、循環器検診の精密検査を受ける人々の底辺が広がり、受診者数も伸びていることから、これらの結果を分析評価することにより、これまで漠然としていた、中高年層の健康状態の把握に大きな期待が持てそうです。

ひいては地区別部落別などの地域差を知ることと私たち保健婦活動の力強い説得点になってくれることを願っているところです。これまでの保健活動は検診などで明らかに異常がみられたことに対し、指導する消極的健康管理でしたが、これからの健康管理はもうそれでは遅いと言われる時代になりました。

出稼ぎシーズンにひとこと

例えば血圧が高いから薬を飲んで下げればいいのではなくて、血圧を上げる要因を取り除く生活を考え、高血圧になるのを未然に防ぐといった具合です。ガンについても同じことがいえます。ガンの早期発見は勿論大事ですが、ガンにかかりにくい生活を考えてみる必要があるということです。

健康を保ち続けることは、毎日の生活を大事に営み続けること以外にないといっても過言ではないでしょう。

最近、出稼ぎへ行くために窓口に見えたAさんとのやりとりで苦笑させられたことがあります。検診結果、お酒の飲み過ぎから肝機能検査の結果が高いことを言いますと、それに効く薬はないだろうかと問います。よく聞いてみると医師からもお酒をひかえれば治るので特に薬は出す必要はないと言われたとのこと。お医者さんにもお金をかけず、お酒もひかえればダブル効果じゃないの?と言い変えても、多少健康を害しても、自分の楽しみを失くしたくないAさんの納得しがたい表情に、内心私も困惑させられたのです。

ともあれ、一家の大黒柱であり、この町の柱でもある人たちが、無事、正月と来年の雪どけの頃には元気な顔で帰ってくることを念じてやみません。

(保健婦・小松友子)

民話・その7

き じ

白雉子に招かれた別当さん



むかしむかし法内村に、本宮さまとよばれる波宇志別神社の別当をしている遠藤茂遠さんという人が住んでいました。

茂遠さんを祖とする遠藤家は由緒が深く、天平勝宝の頃(750年)、筑前の国(九州)より土着し、法内の草分けといわれています。代々信仰深い家柄でもある別当の茂遠さんは、朝な夕な欠かさず神社に出かけ、村の平和をお祈りしているのです。こうした茂遠さんを村人は、「本宮の別当さん」とうやまっていました。

秋のよく晴れた朝のこと、いつものようにお祈りを終えた別当さんは、境内の清掃をしていました。すると近くで「ケンケン、ケンケン」と雉子の鳴き声が聞こえてきます。

「はて、雉子はどこにいるのじゃろう」と鳴き声のする方をゆっくり見まわすと、雪のようにまっ白な雉子が境内の枯れ木にとまり、美しい羽根をなめまわしています。

朝の日ざしで、いちだんと光輝いている雉子は、神々しくみえます。

あまりの美しさにうっとり見とれてい

別当さんですが、不思議なことに別当さんは、雉子の鳴く声が「いっしょおいで、いっしょおいで」と聞こえるのです。

別当さんは、「これはきっと神のお使いに違いない」と思い、急いで家にもどり、わらしをはき、昼めしを腰にして白雉子のあとを追うことにしました。茂遠さんがしたくをしてくと白雉子は森の上をゆっくりと、別当さんを招くように飛び立ちました。

野を越え、山を越え、お腹のすいたのも忘れて無我夢中で白雉子のあとを追っていきま

した。そして、気がついたときは白沢峠をとうに過ぎ、八沢木村(大森町)の一番高い山のてっぺんに登っていました。しかし、せっかく一生懸命に追ってきた白雉子の姿は見えなくなっていました。

がっかりした別当さんは、疲れた顔で燃えるように赤い夕焼けを眺めていました。そしてぼんやりしているうちにあたりは夕闇に一つまれていました。

ちょうどそのとき、山すその方から一人の

男が、何かにとりつかれたように登ってきました。男は八沢木村の大友吉親さんという人で、別当さんと同じように朝早く白雉子を見かけ、自分をよんでいるように聞こえる白雉子のあとを追ってきたらこの高い山にたどりつき、白雉子は見失なってしまったというのでした。

不思議な顔合わせに驚く2人は、「これは、白雉子を使って私たちをよびよせ誰もきたことのないこの山を栄えさせようとした神のおぼしめしに違いない」と言いながら、すっかり仲良しになりました。

2人はその晩山で、落葉をふとんにして語り合いながら夜を過ごしました。そしてこの高い山に「保呂羽山」と名づけ、ほこらを建てて祀り、おそなえものがなかったため、別当さんはまるい器に入った昼めしを、八沢木村の吉親さんは四角い器に入った赤飯をそれぞれおそなえしました。

その後、2人は何度も保呂羽山におとずれ、別当さんはこの山の開祖として村人にも知られました。

そして後年、保呂羽山にも波宇志別神社が建てられ、本宮である法内村の波宇志別神社は矢島領内5社のひとつとして栄えました。

両神社には別当さんがそなえた、昼めしの入ったまるい器をかたどった、珍しいおさい銭箱がそなえられ、また本宮である法内村の波宇志別神社には、白雉子を描いた美しい絵がいまも大切に飾られています。そして現在保呂羽山一帯には、子どもの遊び場やスキー場がつくられ、春夏秋冬通して楽しい声がひびきわたっています。

とっぴんからりの山椒の実

お話しと絵は、石渡力造さんによるものです。





みんなのひろば

ふるさとの味 ④



加藤キヌ子さん
横 渡

イワシのさつま揚げ

先日町生活改善実行グループの料理講習で習った、「イワシのさつま揚げ」を紹介します。

- ① イワシを3枚におろし、まな板の上で身をたたいておく。
② 豆腐は水気を切ってつぶしておく。
③ ニンジン、玉ネギ、シヨウガ
- 【材料】(12個分)
・イワシ、6尾・豆腐、1/2丁
・ニンジン、30g・玉ネギ、35g
・シヨウガ、5g・みそ、25g
・砂糖、小さじ1・酒、大さじ1
・卵、1個・パン粉、大さじ2
・片栗粉、大さじ2・揚げ油
・酢、大さじ2・シヨウガ、25g
- 【準備】
① イワシを3枚におろし、まな板の上で身をたたいておく。
② 豆腐は水気を切ってつぶしておく。
③ ニンジン、玉ネギ、シヨウガ

- 【作り方】
(1) すり鉢に①のイワシを入れ、よくすり、②の豆腐を加えてすり合わせ、③の野菜を入れ、調味料のミソ、砂糖、酒で味をつけ、つなぎとして卵、パン粉、片栗粉を加えて混ぜ合わせます。
(2) (1)を12等分して適当な形にまとめ、中温の油で揚げます。
(3) 器に盛り、酢、大さじ2・シヨウガを添えます。
大量に作って冷凍しておき、必要な時揚げて食べると便利です。

応援ありがとう

県大会出場できず残念！



高橋くん

八塩小バスケット キャプテン 高橋慶始

前日の平沢小の試合ぶりを見てみると、シュートがバツチリ決まりどんどん点数をかせいでいたようでした。



強敵平沢小との対戦

1勝1敗と、5分5分の成績でした。前の日の平沢小の試合ぶりを見てみると、シュートがバツチリ決まりどんどん点数をかせいでいたようでした。

いよいよ試合が始まるとみんな少しきんちようしていたようでしたが、それでも2クォーターまではぼくたちの方が勝っていました。しかし、3クォーターの終わりの方で2点の差をつけられてしまいました。ぼくたちは「よし、逆点してやるぞ」という気持ちでいっしょうけんめいががんばりましたが、相手のシュートがよく決まり点数の差が大きくなっていききました。

「ビビー」、と終わり合図が鳴ったとたん、選挙全員の顔からなみだがこぼれました。敗れてしまった県大会に出場できないと思うと残念でなりませんでした。でもせいじいばいがんばったのでくいはないと思いました。

みなさん、応援本当にありがとうございました。

私の赤ちゃん ④



ちから 佐藤主税ちゃん 萍 沢
59・4・3生まれ
好市さんと龍子さんの長男

力強く元気に育ってほしいと、お父さんの好市さんが「ちから」と命名したそうです。生まれてから7か月足らずのちからちゃんは、まだ歩くことができませんでしたが、とっても元気のよい赤ちゃんでした。ふだんはおじいちゃんやおばあちゃんといっしょで、おじいちゃんにおんぶしてバイクに乗るのが大好きだそうです。

われらちびっこ派 ④

④

今月の「ちびっこ」は、みどり保育園「ひまわり組」からの登場です。
テーマ おおきくなったらなにになりたいの



わたなべ ひろきくん
(6さい・しぐれやま)

ぼくはおもちやさんになって、ぶらもでるをつくらたり、らじこんのひこうきをとばしたりしたいんだ。

さわやか君

西村 宗



ふるさとへの 便り

⑤

今回は新町出身の小松六郎さん(57歳)からお便りをいただきました。



小松さん

庭の小菊もちらほら咲きはじめ柿の色も鮮かに、更けゆく秋の気配を感じるこの頃です。
 鋳物の町川口を第2のふるさとと定めてから、はや25年。当時中学生だった息子も今では2児の父親として頑張っております。
 息子の嫁も私と同じ東由利町の出身で、わが家はまさに秋田県人会といったところで、春にはワラビや竹の子とり、秋にはきのこのとりや台山での戦争ごっ

こ……。幼き日のふるさとのもつもの話に、時間のたつのも忘れてしまうことがあります。
 “ふるさととは遠きにありて思ふもの”
 “ふるさとづくり”はこの出身の県人も一生懸命頑張っているようで、私たちにも幸い東京東由利会があり、年々発展を上げています。
 総会にはお忙しい中、町長さんや議長さんにご出席いただき、ほんとうに感謝しております。
 また、町のご厚志により、毎月広報を送っていただき、町の発展や知人、友人が活躍しておられるようすが手に取るようにうかがえます。さらに、ふるさとに伝わる昔話などは、孫も大変喜んで読んでいます。
 8月には両親の法事で帰郷しましたが町の美しさにいまさらながら感動し、また、企業が進出して活気にあふれ、街を歩く女性もほとんどといってよい位、パート勤めで、昔の農村地帯もど

こへやらといった感じがしました。日に日に進歩しているふるさととのわが町……。これもひとえに町民の皆様の努力の賜と深く感謝しつつ、私たちもふるさとの皆様と恥ないよう頑張らなければと考えを新たにしている次第です。
 (小松さんのお住い▼埼玉県川口市江戸1の1の27)

お便りお待ちします

「ふるさとへの便り」の原稿をお寄せください。お寄せくださる場合は出身地と年令をお書きのうえ、写真1枚を添付くださるようお願いいたします。

送り先▼東由利町役場・広報係



あきよし
小野昭美くん
下通(21歳)
38・3・22生まれ

おちついたふんいきの中に男らしさを感じさせる青年でした。

小野作美さん(下通)の長男で、祖母、父母、姉、妹の6人家族。夏の社会人野球で優勝した「野球狂」のエースで、趣味はもちろん野球。雄物川高校を卒業後、一時秋田市の職場で働いていましたが、やっぱり生まれ育ったところがよく、現在は東邦製作所(蔵新田)で働いています。

楽しいときは……友達と酒を飲んで騒いでいるとき。

町に望むことは……もっと活気のある町になってほしい。また、若者の働ける町にしてほしい。

今後の豊富は……資格をとって、独立した仕事を持ち、自分の力で働きたい。

好みの女性のタイプは……目の澄んだ人……

スポーツなら何でもできるという昭美くんの最近の悩みは、体重が少し増えてきたことだそうです。

ヤングレポート

⑥

次回は永慶保育園「月組」のちびっこが登場します。



たかはし じゅんくん
(5さい・しんでん)

ぼくはけいじになつてもりながのおかしにどくをいれたひとをたいほしたい。



わたしはねえ、おかあさんになつておいしいりょうりをたくさんつくつてたべたいな。



はせやま るみちゃん
(5さい・ちかのさわ)

町民の声を町政に！

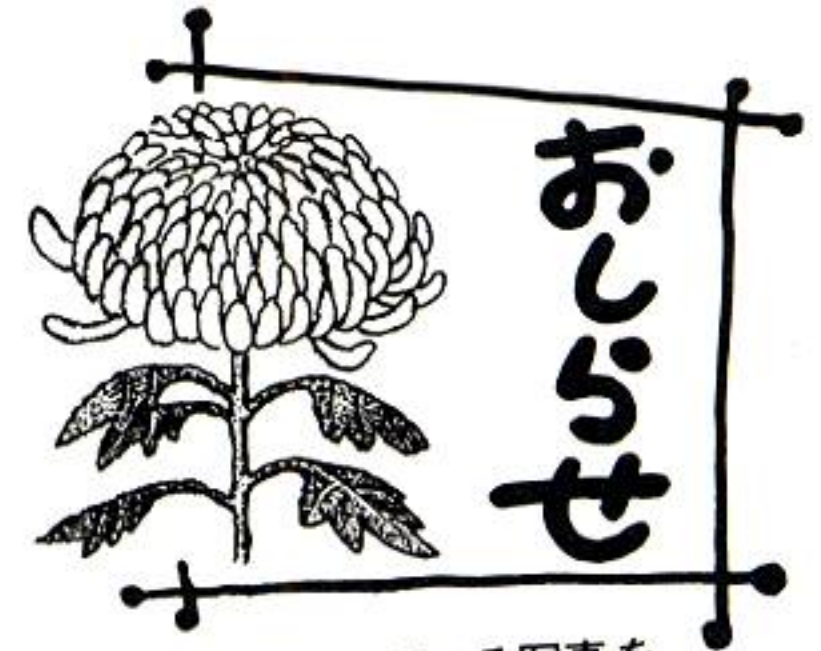
町長の面会日今月は20日

今月の本だな

▶売られていった子ネコ
 ▶アンパンマンとてんどんまん
 ▶おいしゃさんライオン
 ▶おひさまライオン▶おとうさんライオン▶貝になった子ども▶ぼくのさんすうわたしのりか▶片耳の大鹿▶長くつ下のピッピ▶ピッピ船にのる▶ピッピ南の島へ▶たたかいはいのち果てる日まで▶ザ・ヒーロー（オリンピック記録集）▶続妻たちの思秋期▶昭和の歴史4▶シルクロード12▶木村伊兵衛集4▶歴史の群像12▶複刻南極記▶平鹿町史

期 日	11月14日
・大琴診療所	10:20 ~ 11:10
・役場前	12:10 ~ 13:10
・玉支所	13:30 ~ 14:10
・大蔵館	14:10 ~ 14:40
・下郷分校	15:00 ~ 16:00

献血車が来町します
 次により今年度最後の献血車「あかつき号」が来町します。
 多数の方が「愛の献血」にご協力くださるようお願いいたします。


 広報にのっている写真を
 ほしい方に差し上げます

今月の行事

4日～5日・生活文化祭・農協祭
 5日・子宮ガン検診
 6日・葉タバコ耕作組合総代会
 7日・3歳児検診
 8日・乳児健康相談
 9日・インフルエンザ予防接種
 9日・子宮ガン検診
 13日・新入学児童予防接種
 14日・インフルエンザ予防接種
 19日・子宮ガン検診
 22日・育児学級
 27日・農業委員会
 30日・インフルエンザ予防接種



香典返しとして小松トミさん（下通）と渡辺ハナさん（田代）から金一封が社会福祉協議会へ届けられました。ありがとうございました。

あとでよりいまが大切 火の始末

秋の火災予防運動

11/4～11/10

月例剣道稽古会 ご案内

本荘市由利郡剣道連盟では毎月15日に「月例剣道稽古会」を行うことにしました。
 参加したい方、見学したい方は、お気軽にどうぞ！
 場 所 西目町海洋センタートレーニング室
 時 間 午後7時から9時

年末調整説明会 のお知らせ

本荘税務署では、源泉所得税にかかる年末調整の説明会を次により開催します。
 日 時 11月29日（木） 13時から15時30分
 会 場 有隣館

危険物取扱者 試験実施

日 時 60年1月9日（水）午前10時から午後0時まで
 会 場 県立横手工業高・秋田市立秋田南中学校他
 試験の種類 乙種及び丙種危険物取扱者
 詳しくは、県消防防災課にお問い合わせください。
 ☎0188(60)1319

戸籍の窓口

（9/21～10/20届出・敬称略）

うぶ声



結 婚



小松 博 板戸
 小野 本
 尾久 光夫 羽後町
 畠山 幸子 沢

おくやみ



鈴木 一史 柴 舟木
 佐藤 紀 茂 一 長男 松 柴
 佐藤 碧 力 弥 二 女 宇 戸坂
 石渡 久 穂 二 男 湯 出野
 阿部 裕 次 雄 二 女 蔵 蔵
 浅田 元 子 和 弘 二 女 蔵 蔵
 小野 浩 士 真 一 二 男 宿 大 琴
 高橋 忠 業 73 トミ・夫 下 通
 菊地 政 三 郎 69 ヤスエ・夫 宇 戸坂
 渡辺 秀 雄 41 ハナ・夫 田 代
 高橋 松 喜 77 ハツエ・夫 五 海保

町の二統計 10月（9/1～9/30）

●人口（ ）内は前月と比較 ・男 3,058人（△5） ・女 3,124人（△2） ・計 6,182人（△7） ●世帯数 1,424世帯（△1）	（ ）内は1月からの累計 ●出生 8人（65） ●死亡 6人（41） ●結婚 5組（20） ●離婚 0組（5）
●ゴミ処理量	30 t（272）
●火 災	0 件（0）
●救急車出動回数	8 件（79）
●交通事故	1 件（10）
●交通死亡事故「0」継続日数	1,568日
●総合開発センター「有隣館」利用者数	2,759人（13,682）
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数	730人（4,996）

交通事故の相談はお気軽にどうぞ!!

専門の相談員が親身になって無料で相談に応じます。相談は平日が9時30分から16時40分。土曜は正午までです。（第2土曜休み）

秋田自動車保険請求センター ☎0188-32-3279・0188-33-7501